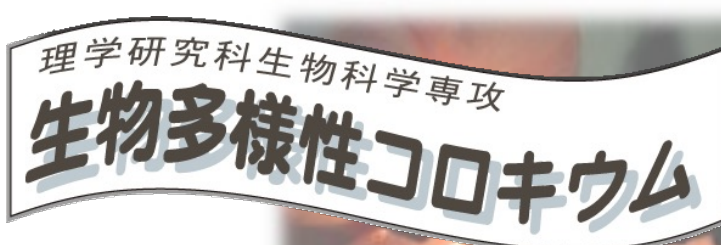
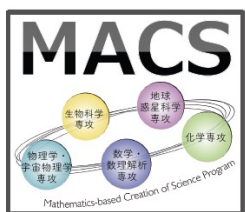
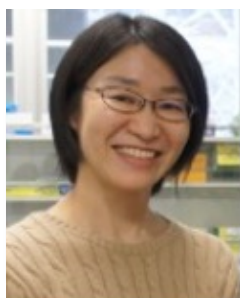


共催



分子集合体の自己組織化により形作られる管状組織 —昆虫心臓管形成機構の探究—



他専攻からも来聴歓迎！

講師: 関根清薫 学振特別研究員

東京科学大学 総合研究院
細胞制御工学研究センター

日時: 2025年 11月5日(水) 16:00～

場所: 理学 1号館106号室(BP1)

動物の血管や植物の導管などの管状組織は、個体全体に酸素や栄養を届ける不可欠な構造であるが、その形成機構は未解明な点が多い。私はショウジョウバエの気管形成過程で、アクチンの自己集合により生じるアクチンナノクラスターが、力学応答や高次の細胞骨格パターン形成の基本単位として機能することを見出した(Nat Commun, 2024)。現在、この発見を基盤に、拍動する心臓管に特有の複雑な筋原線維パターンがどのように形成されるのかを研究している。本セミナーでは、これまでの成果に加え、心臓初期形成に関する最新の知見をもとに、拍動の開始機構および周期性や伝播方向性の獲得過程について議論したい。

世話人:

生物科学専攻 動物学教室

稲葉真史 内線 4244

Biodiversity
Colloquium